

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第112期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
【会社名】	日本ギア工業株式会社
【英訳名】	NIPPON GEAR CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 勝村 哲
【本店の所在の場所】	神奈川県藤沢市桐原町7番地
【電話番号】	(0466)45-2100番
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 小倉 達朗
【最寄りの連絡場所】	神奈川県藤沢市桐原町7番地
【電話番号】	(0466)45-2125番
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 小倉 達朗
【縦覧に供する場所】	日本ギア工業株式会社横浜支店 (神奈川県横浜市西区北幸一丁目11番11号 NOF横浜西口ビル9階) 日本ギア工業株式会社大阪支店 (大阪府吹田市江の木町26番30号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第111期 第1四半期累計期間	第112期 第1四半期累計期間	第111期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	3,013,579	2,076,924	9,812,383
経常利益(千円)	319,593	171,085	402,410
四半期(当期)純利益(千円)	193,884	107,561	242,025
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	1,388,800	1,388,800	1,388,800
発行済株式総数(千株)	14,280	14,280	14,280
純資産額(千円)	5,711,858	5,886,874	5,798,964
総資産額(千円)	11,418,122	10,110,121	9,935,571
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	13.65	7.57	17.04
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	5.0
自己資本比率(%)	50.0	58.2	58.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

なお、平成25年7月1日付けで下記のとおり契約を更新いたしました。

技術受入契約

相手先の名称	契約の内容	契約期間
フローサーブUS・インク(米国)	バルブ・コントロールの製造販売 及び技術資料の供与	自 平成25年7月1日 至 平成30年6月30日

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

経営成績の分析

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロールは上下水道向けの需要が落ち込み受注は減少いたしました。ジャッキは官公庁向け需要の増加に伴い受注が増加いたしました。その他の増減速機は受注が減少いたしました。また、歯車につきましては自動車用の需要が大幅に落ち込み受注は減少いたしました。その結果、歯車及び歯車装置事業では受注は大幅に減少いたしました。工事業業につきましては、火力発電所向けは増加いたしました。石油向けの落ち込みが大きく受注は減少いたしました。その結果、当第1四半期累計期間の受注高は22億17百万円（前年同期比12.5%減）、売上高は20億76百万円（前年同期比31.1%減）となりました。一方、当第1四半期会計期間末の受注残高は31億98百万円（前事業年度末比4.6%増）となりました。

損益面につきましては、売上高が減少したため経費削減に努めた結果、営業利益は1億57百万円（前年同期比51.6%減）、経常利益は1億71百万円（前年同期比46.5%減）、四半期純利益は1億7百万円（前年同期比44.5%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業につきましては、バルブコントロールの受注高は、船舶、化学向けが増加したものの、上下水道、補修用部品、火力発電所、輸出、石油、原子力発電所向けが落ち込んだことにより、前年同期比7.5%減少いたしました。売上高は、輸出が増加したものの、火力発電所、補修用部品、船舶、上下水道向けが落ち込んだことにより、前年同期比30.6%減少いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は官公庁向けが増加したため、前年同期比6.6%増加いたしました。売上高は産業用機械、液晶関連、電子関連向け設備投資が落ち込んだため、前年同期比18.2%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比26.6%、売上高も前年同期比22.7%それぞれ減少いたしました。歯車の受注高は、その他産業機械用が増加したものの、自動車用が不振であったことに加え、鉄道・船舶用、特殊車両用も落ち込み、前年同期比24.3%減少いたしました。売上高も、鉄道・船舶用が増加したものの、自動車用、その他産業機械用、特殊車両用が落ち込んだことにより、前年同期比33.2%減少いたしました。

工事業業につきましては、受注高は火力発電所向けが増加したものの、石油向けの落ち込みが大きく前年同期比11.8%減少いたしました。売上高は火力発電所、原子力発電所向けが大幅に落ち込み前年同期比35.1%減少いたしました。

財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ2億5百万円増加し71億7百万円となりました。これは主に売上債権が3億14百万円減少いたしましたが、現金及び預金が4億28百万円、たな卸資産が1億16百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ30百万円減少し30億3百万円となりました。これは主に有形固定資産が47百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ94百万円減少し24億50百万円となりました。これは主に未払法人税等が67百万円、預り金が64百万円増加いたしましたが、仕入債務が28百万円、賞与引当金が2億4百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ1億81百万円増加し17億72百万円となりました。これは主に退職給付引当金が37百万円、リース債務が22百万円減少いたしましたが、長期借入金が2億54百万円増加したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ87百万円増加して58億86百万円となりました。これは主に利益剰余金が64百万円増加したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動の金額は30百万円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	57,000,000
計	57,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,280,000	14,280,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	14,280,000	14,280,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	14,280,000	-	1,388,800	-	448,348

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 79,000	-	単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,083,000	14,083	同上
単元未満株式	普通株式 118,000	-	-
発行済株式総数	14,280,000	-	-
総株主の議決権	-	14,083	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式1,000株が含まれております。また、「議決権の数(個)」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本ギア工業株式会社	神奈川県藤沢市桐原町7番地	79,000	-	79,000	0.56
計	-	79,000	-	79,000	0.56

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、大有ゼネラル監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,369,777	1,797,811
受取手形及び売掛金	3,142,310	2,827,558
商品及び製品	168,462	148,432
仕掛品	532,073	518,957
原材料及び貯蔵品	1,217,120	1,366,417
その他	472,004	447,845
流動資産合計	6,901,749	7,107,023
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	1,183,971	1,136,024
有形固定資産合計	2,197,262	2,149,315
無形固定資産		
133,792		128,558
投資その他の資産		
投資有価証券	420,273	457,387
その他	287,693	273,036
貸倒引当金	5,200	5,200
投資その他の資産合計	702,767	725,223
固定資産合計	3,033,822	3,003,097
資産合計	9,935,571	10,110,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,441,877	1,413,811
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	310,500	297,000
未払法人税等	-	67,976
賞与引当金	295,637	91,055
その他	417,025	500,723
流動負債合計	2,545,041	2,450,567
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	215,000	469,000
退職給付引当金	643,635	606,110
役員退職慰労引当金	14,630	1,785
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	204,150	204,187
その他	290,608	268,055
固定負債合計	1,591,565	1,772,679
負債合計	4,136,606	4,223,246

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	3,490,646	3,555,607
自己株式	25,773	25,976
株主資本合計	5,702,021	5,766,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,943	120,095
評価・換算差額等合計	96,943	120,095
純資産合計	5,798,964	5,886,874
負債純資産合計	9,935,571	10,110,121

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,013,579	2,076,924
売上原価	2,152,868	1,434,500
売上総利益	860,710	642,424
販売費及び一般管理費	536,039	485,329
営業利益	324,671	157,094
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5,328	4,774
助成金収入	-	12,229
その他	1,889	2,982
営業外収益合計	7,217	19,986
営業外費用		
支払利息	8,328	5,936
為替差損	3,703	-
その他	264	58
営業外費用合計	12,295	5,995
経常利益	319,593	171,085
特別損失		
固定資産除却損	20	-
特別損失合計	20	-
税引前四半期純利益	319,572	171,085
法人税等	125,688	63,524
四半期純利益	193,884	107,561

【注記事項】

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期貸借対照表関係)

四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	102,573千円	89,120千円
支払手形	9,585	6,308

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	83,456千円	77,005千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	56,808	4.0	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	42,601	3.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,985,795	1,027,783	3,013,579
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,985,795	1,027,783	3,013,579
セグメント利益	26,240	298,431	324,671

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,409,390	667,533	2,076,924
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,409,390	667,533	2,076,924
セグメント利益又は損失()	33,876	190,970	157,094

(注) セグメント利益又は損失()の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13円65銭	7円57銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	193,884	107,561
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	193,884	107,561
普通株式の期中平均株式数(株)	14,201,869	14,200,178

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

日本ギア工業株式会社
取締役会 御中

大有ゼネラル監査法人

代表社員 公認会計士 飯村 忠昭 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 武井 浩之 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ギア工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第112期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日本ギア工業株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。